教科	商業	科目	原価計算	単位数	2
学年	2年	類型	商業科		
教科書(出版社)	原価計算 新訂版(東京法令出版)				
副教材(出版社)	完全段階式 標準検定簿記問題集 全商1級 原価計算(東京法令出版)				
授業の概要	製造業における工業簿記の記帳方法と原価計算の基本的な考え方、知識と技術を習得します。また原価計算によって得られる情報を効果的に活用するための能力と態度を身に付けます。				
授業の目標	原価計算に関する基本的・基礎的な知識と技術を身に付けるとともに、製造業において行われる取引・活動を計数的に把握し、活用する学習を通して、原価に対する理解を深めます。				
年間 学習 計画	学習内容(単元・項目)		学習目標		
	1 学期	1 原価と原価計算 2 原価の費目別計算 3 原価の部門別計算と製品別計算 4 製品の完成・販売と決算	<ul style="list-style-type: none"> 原価計算の基本的な事項、製品の製造原価を計算するための第1手続きとしての費目別計算を学習する。 第2、第3手続きとしての部門別計算と製品別計算の記帳方法を学習する。 製造業の決算について、報告書の作成方法を学習する。 		
	2 学期	5 標準原価計算 6 原価情報の活用 まとめ取りによる財務会計Iを学習する。(10月～3月)	<ul style="list-style-type: none"> 原価情報の活用に関する基礎的な知識と技術を習得する。 		
3 学期					
観点別 評価	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解	
	原価計算に関心を持ち、意欲的な取り組みと知識・技能の向上に努めているか。	各種の原価計算の方法や記帳法を使用する場面を、自ら考え、判断できるか。	ビジネスの諸活動を計数的に把握し、的確に処理、表現できるか。	工業簿記と原価計算の仕組みを理解し、基本的な知識を身につけているか。	
備考	4つの観点に基づき、各学期ごとに100点法で評価し、学年末には各学期の評価を平均し、総合的に評価する。 「財務会計I」とのまとめ取りにより、4月から9月に学習する。				